

平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 鳥取県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	厚生病院	3
鳥取市	市立病院	4
岩美町	国保岩美病院	5
智頭町	国保智頭病院	6
南部町	西伯病院	7
日南町	日南町国民健康保険 日南病院	8
日野病院組合	日野病院	9

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	89,825 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	30	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	504	85.6	90.4	91.5
療養	-	-	-	-
結核	10	10.5	19.9	5.2
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	518	83.2	87.9	88.6
平均在院日数（一般病床のみ）		13.0	13.3	13.2

設立団体の状況		
人口（人）	573,441	
決算規模（千円）	336,031,398	
標準財政規模（千円）	211,097,267	
財政力指数	0.27719	
経常収支比率（%）	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.7
	将来負担比率（%）	126.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	96.2
修正医業収支金額（千円）	13,029,816

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,144,371			
1 経常収益	14,991,328			
(1) 医業収益	13,345,244			
入院収益	9,504,275			
外来収益	3,260,312			
診療収入計	12,764,587			
その他医業収益	580,657			
(うち他会計負担金)	315,428			
(2) 医業外収益	1,646,084			
(うち国・都道府県補助金)	75,585			
(うち他会計補助・負担金)	818,364			
(うち長期前受金戻入)	316,843			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	153,043			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,006,792			
2 経常費用	14,241,205			
(1) 医業費用	13,538,814			
職員給与費	6,211,452	46.5	56.0	49.8
材料費	4,180,576	31.3	24.1	28.0
(うち薬品費)	1,823,472	13.7	12.6	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,258,777	16.9	11.1	12.8
減価償却費	606,684	4.5	9.2	8.3
経費	2,473,084	18.5	23.2	20.7
(うち委託料)	921,228	6.9	11.3	11.4
研究研修費	54,770			
資産減耗費	12,248			
(2) 医業外費用	702,391			
(うち支払利息)	108,916	0.8	1.6	1.4
(3) 特別損失	765,587			
損益				
経常損益	750,123			
純損益	137,579			
累積欠損金	862,769			
経常収支比率	105.3		98.2	99.5
医業収支比率	98.6		88.3	92.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.5	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.6	10.3
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.5	9.0
実質収益対経常費用比率	97.3		86.0	90.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	50,740,122
1 固定資産	41,259,889
(1) 有形固定資産	38,879,987
(2) 無形固定資産	67,849
(3) 投資その他の資産	2,312,053
2 流動資産	9,480,233
(1) 現金及び預金	5,910,453
(2) 未収金及び未収収益	3,391,567
(3) 貸倒引当金（ ）	13,202
(4) 貯蔵品	179,415
3 繰延資産	-
負債合計	39,990,385
1 固定負債	35,352,252
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,394,196
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,942,260
(7) リース債務	15,796
2 流動負債	3,607,261
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,272,225
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	541,420
(6) リース債務	8,736
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,666,218
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,030,872
(1) 長期前受金	8,348,877
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	7,318,005
資本合計	10,749,737
1 資本金	16,630,180
2 剰余金	-5,880,443
(1) 資本金剰余金	10,351
(2) 利益剰余金	-5,890,794
負債・資本合計	50,740,122
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,782,221	1,133,792
資本勘定繰入	512,842	536,577
計	2,295,063	1,670,369

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	29.5
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	
				病院名	厚生病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,433 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	300	81.6	83.4	84.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	304	80.5	82.3	83.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	15.0	15.6

設立団体の状況		
人口(人)	573,441	
決算規模(千円)	336,031,398	
標準財政規模(千円)	211,097,267	
財政力指数	0.27719	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	126.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.2
修正医業収支金額(千円)	6,552,468

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,570,340			
1 経常収益	7,569,444			
(1) 医業収益	6,646,081			
入院収益	4,667,188			
外来収益	1,723,344			
診療収入計	6,390,532			
その他医業収益	255,549			
(うち他会計負担金)	93,613			
(2) 医業外収益	923,363			
(うち国・都道府県補助金)	30,737			
(うち他会計補助・負担金)	489,442			
(うち長期前受金戻入)	317,437			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	896			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,602,994			
2 経常費用	7,278,859			
(1) 医業費用	6,953,539			
職員給与費	3,447,227	51.9	56.0	57.1
材料費	1,361,129	20.5	24.1	23.9
(うち薬品費)	758,669	11.4	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	602,500	9.1	11.1	11.4
減価償却費	642,468	9.7	9.2	9.5
経費	1,480,308	22.3	23.2	22.0
(うち委託料)	697,669	10.5	11.3	10.8
研究研修費	19,774			
資産減耗費	2,633			
(2) 医業外費用	325,320			
(うち支払利息)	95,111	1.4	1.6	1.6
(3) 特別損失	324,135			
経常損益	290,585			
純損益	-32,654			
累積欠損金	5,028,025			
経常収支比率	104.0		98.2	96.7
医業収支比率	95.6		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	7.7		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	7.7		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	96.0		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	50,740,122
1 固定資産	41,259,889
(1) 有形固定資産	38,879,987
(2) 無形固定資産	67,849
(3) 投資その他の資産	2,312,053
2 流動資産	9,480,233
(1) 現金及び預金	5,910,453
(2) 未収金及び未収収益	3,391,567
(3) 貸倒引当金()	13,202
(4) 貯蔵品	179,415
3 繰延資産	-
負債合計	39,990,385
1 固定負債	35,352,252
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,394,196
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,942,260
(7) リース債務	15,796
2 流動負債	3,607,261
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,272,225
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	541,420
(6) リース債務	8,736
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,666,218
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,030,872
(1) 長期前受金	8,348,877
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,318,005
資本合計	10,749,737
1 資本金	16,630,180
2 剰余金	-5,880,443
(1) 資本剰余金	10,351
(2) 利益剰余金	-5,890,794
負債・資本合計	50,740,122
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	894,065	583,055
資本勘定繰入	302,664	281,946
計	1,196,729	865,001

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	29.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	鳥取市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,839 m ²	指定病院の状況	救臨がへ地輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	340	74.9	75.5	81.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	340	74.9	75.5	81.0
平均在院日数（一般病床のみ）		13.7	13.4	13.5

設立団体の状況		
人口（人）	193,717	
決算規模（千円）	98,272,345	
標準財政規模（千円）	50,821,675	
財政力指数	0.52	
経常収支比率（%）	87.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.8
	将来負担比率（%）	63.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	84.9
修正医業収支金額（千円）	6,490,841

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,411,574			
1 経常収益	7,389,395			
(1) 医業収益	6,678,511			
入院収益	4,634,716			
外来収益	1,500,972			
診療収入計	6,135,688			
その他医業収益	542,823			
(うち他会計負担金)	187,670			
(2) 医業外収益	710,884			
(うち国・都道府県補助金)	18,517			
(うち他会計補助・負担金)	452,775			
(うち長期前受金戻入)	122,303			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	22,179			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,106,796			
2 経常費用	8,106,157			
(1) 医業費用	7,649,103			
職員給与費	4,478,150	67.1	56.0	57.1
材料費	1,393,064	20.9	24.1	23.9
(うち薬品費)	597,695	8.9	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	749,519	11.2	11.1	11.4
減価償却費	479,044	7.2	9.2	9.5
経費	1,084,145	16.2	23.2	22.0
(うち委託料)	629,523	9.4	11.3	10.8
研究研修費	142,808			
資産減耗費	71,892			
(2) 医業外費用	457,054			
(うち支払利息)	179,711	2.7	1.6	1.6
(3) 特別損失	639			
損益				
経常損益	-716,762			
純損益	-695,222			
累積欠損金	9,998,282			
経常収支比率	91.2		98.2	96.7
医業収支比率	87.3		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	9.6		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	83.3		86.0	85.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,832,919
1 固定資産	8,215,119
(1) 有形固定資産	8,127,323
(2) 無形固定資産	4,177
(3) 投資その他の資産	83,619
2 流動資産	3,617,800
(1) 現金及び預金	1,345,755
(2) 未収金及び未収収益	1,315,555
(3) 貸倒引当金（ ）	9,760
(4) 貯蔵品	59,037
3 繰延資産	-
負債合計	9,090,517
1 固定負債	6,491,398
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,188,340
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,286,296
(7) リース債務	16,762
2 流動負債	2,294,108
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	983,737
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	287,515
(6) リース債務	20,113
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	968,474
(9) 前受金及び前受収益	1,004
3 繰延収益	305,011
(1) 長期前受金	1,171,427
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	866,416
資本合計	2,742,402
1 資本金	12,740,684
2 剰余金	-9,998,282
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-9,998,282
負債・資本合計	11,832,919
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	637,530	640,445
資本勘定繰入	627,663	657,711
計	1,265,193	1,298,156

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	149.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)	都道府県名	鳥取県
	市町村・組合名	岩美町
	病院名	国保岩美病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	60	85.5	86.9	89.9
療養	50	85.3	89.4	89.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	110	85.4	88.0	89.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.5	18.0	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	11,485	
決算規模(千円)	6,985,864	
標準財政規模(千円)	4,216,530	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	86.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.7
	将来負担比率(%)	41.3

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	11,582 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	14	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.5
修正医業収支金額(千円)	1,649,476

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,954,686			
1 経常収益	1,954,686			
(1) 医業収益	1,695,450			
入院収益	795,713			
外来収益	777,133			
診療収入計	1,572,846			
その他医業収益	122,604			
(うち他会計負担金)	45,974			
(2) 医業外収益	259,236			
(うち国・都道府県補助金)	3,973			
(うち他会計補助・負担金)	220,363			
(うち長期前受金戻入)	24,359			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,046,785			
2 経常費用	2,043,835			
(1) 医業費用	1,929,984			
職員給与費	1,014,673	59.8	56.0	61.8
材料費	375,283	22.1	24.1	17.7
(うち薬品費)	301,894	17.8	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	70,520	4.2	11.1	8.2
減価償却費	169,510	10.0	9.2	10.4
経費	363,897	21.5	23.2	29.9
(うち委託料)	150,684	8.9	11.3	12.9
研究研修費	3,289			
資産減耗費	3,332			
(2) 医業外費用	113,851			
(うち支払利息)	60,509	3.6	1.6	1.7
(3) 特別損失	2,950			
損益				
経常損益	-89,149			
純損益	-92,099			
累積欠損金	1,059,990			
経常収支比率	95.6		98.2	96.7
医業収支比率	87.8		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.6		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	13.6		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	82.6		86.0	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,962,073
1 固定資産	3,672,625
(1) 有形固定資産	3,652,075
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	20,550
2 流動資産	1,289,448
(1) 現金及び預金	1,010,479
(2) 未収金及び未収収益	251,258
(3) 貸倒引当金()	293
(4) 貯蔵品	28,004
3 繰延資産	-
負債合計	3,498,035
1 固定負債	2,942,935
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,942,935
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	401,805
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	231,687
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,965
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	104,302
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	153,295
(1) 長期前受金	349,235
(2) 長期前受金収益化累計額()	195,940
資本合計	1,464,038
1 資本金	2,524,028
2 剰余金	-1,059,990
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,059,990
負債・資本合計	4,962,073
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	236,229	266,337
資本勘定繰入	111,832	111,832
計	348,061	378,169

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)	都道府県名	鳥取県
	市町村・組合名	智頭町
	病院名	国保智頭病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	12,639 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	52	84.8	95.6	91.1
療養	47	87.1	99.2	88.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	85.9	97.3	89.7
平均在院日数（一般病床のみ）		22.3	20.3	19.9

設立団体の状況		
人口（人）	7,154	
決算規模（千円）	5,824,455	
標準財政規模（千円）	3,549,000	
財政力指数	0.21	
経常収支比率（%）	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.0
	将来負担比率（%）	107.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	79.2
修正医業収支金額（千円）	1,177,453

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,750,379			
1 経常収益	1,750,379			
(1) 医業収益	1,192,051			
入院収益	727,972			
外来収益	365,092			
診療収入計	1,093,064			
その他医業収益	98,987			
(うち他会計負担金)	14,598			
(2) 医業外収益	558,328			
(うち国・都道府県補助金)	29,980			
(うち他会計補助・負担金)	290,569			
(うち長期前受金戻入)	18,266			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,835,992			
2 経常費用	1,780,297			
(1) 医業費用	1,485,987			
職員給与費	888,501	74.5	56.0	71.8
材料費	169,555	14.2	24.1	16.5
(うち薬品費)	65,341	5.5	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	81,106	6.8	11.1	5.6
減価償却費	122,308	10.3	9.2	12.2
経費	300,739	25.2	23.2	31.2
(うち委託料)	142,869	12.0	11.3	12.3
研究研修費	3,283			
資産減耗費	1,601			
(2) 医業外費用	294,310			
(うち支払利息)	63,416	5.3	1.6	1.9
(3) 特別損失	55,695			
損益				
経常損益	-29,918			
純損益	-85,613			
累積欠損金	3,136,570			
経常収支比率	98.3		98.2	97.1
医業収支比率	80.2		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	17.4		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	25.6		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	17.4		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	81.2		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	4,690,998
1 固定資産	4,122,149
(1) 有形固定資産	4,114,844
(2) 無形固定資産	1,305
(3) 投資その他の資産	6,000
2 流動資産	568,849
(1) 現金及び預金	320,570
(2) 未収金及び未収収益	247,844
(3) 貸倒引当金（ ）	2,049
(4) 貯蔵品	1,924
3 繰延資産	-
負債合計	4,214,771
1 固定負債	3,324,733
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,023,561
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	301,172
(7) リース債務	-
2 流動負債	427,152
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	208,871
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,805
(6) リース債務	415
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	160,446
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	462,886
(1) 長期前受金	583,047
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	120,161
資本合計	476,227
1 資本金	3,552,763
2 剰余金	-3,076,536
(1) 資本剰余金	60,034
(2) 利益剰余金	-3,136,570
負債・資本合計	4,690,998
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	305,167	305,167
資本勘定繰入	136,367	136,367
計	441,534	441,534

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	263.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	南部町
				病院名	西伯病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,798 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	11	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	49	80.4	83.0	84.4
療養	50	84.2	86.6	89.2
結核	-	-	-	-
精神	99	83.5	87.1	85.5
感染症	-	-	-	-
計	198	82.9	86.0	86.2
平均在院日数(一般病床のみ)		21.8	20.2	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	10,950	
決算規模(千円)	7,410,843	
標準財政規模(千円)	4,369,448	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.8
	将来負担比率(%)	37.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.3
修正医業収支金額(千円)	1,780,359

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,321,796			
1 経常収益	2,321,796			
(1) 医業収益	1,832,951			
入院収益	1,220,427			
外来収益	462,544			
診療収入計	1,682,971			
その他医業収益	149,980			
(うち他会計負担金)	52,592			
(2) 医業外収益	488,845			
(うち国・都道府県補助金)	6,329			
(うち他会計補助・負担金)	368,324			
(うち長期前受金戻入)	56,142			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,382,714			
2 経常費用	2,382,714			
(1) 医業費用	2,274,459			
職員給与費	1,288,767	70.3	56.0	96.0
材料費	178,773	9.8	24.1	8.6
(うち薬品費)	109,263	6.0	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,789	3.6	11.1	1.0
減価償却費	177,893	9.7	9.2	12.5
経費	620,610	33.9	23.2	34.0
(うち委託料)	215,327	11.7	11.3	16.5
研究研修費	6,630			
資産減耗費	1,786			
(2) 医業外費用	108,255			
(うち支払利息)	63,892	3.5	1.6	3.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-60,918			
純損益	-60,918			
累積欠損金	1,122,499			
経常収支比率	97.4		98.2	100.0
医業収支比率	80.6		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	18.1		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	23.0		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	18.1		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	79.8		86.0	66.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,616,151
1 固定資産	3,235,098
(1) 有形固定資産	3,227,118
(2) 無形固定資産	520
(3) 投資その他の資産	7,460
2 流動資産	381,053
(1) 現金及び預金	99,309
(2) 未収金及び未収収益	268,713
(3) 貸倒引当金()	3,046
(4) 貯蔵品	16,077
3 繰延資産	-
負債合計	3,560,856
1 固定負債	2,863,658
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,863,658
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	400,797
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	188,204
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	96,116
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	50,000
(8) 未払金及び未払費用	55,248
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	296,401
(1) 長期前受金	680,359
(2) 長期前受金収益化累計額()	383,958
資本合計	55,295
1 資本金	830,738
2 剰余金	-775,443
(1) 資本金剰余金	327,640
(2) 利益剰余金	-1,103,083
負債・資本合計	3,616,151
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	389,088	420,916
資本勘定繰入	104,691	104,691
計	493,779	525,607

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	61.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	日南町
				病院名	日南町国民健康保険 日南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,645 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	8	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	59	66.4	63.8	58.7
療養	40	82.0	68.4	70.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	72.7	65.7	63.6
平均在院日数（一般病床のみ）		16.8	15.5	14.7

設立団体の状況		
人口（人）	4,765	
決算規模（千円）	6,845,109	
標準財政規模（千円）	3,232,024	
財政力指数	0.15	
経常収支比率（%）	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.4
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,144,888			
1 経常収益	1,144,888			
(1) 医業収益	825,533			
入院収益	517,829			
外来収益	200,825			
診療収入計	718,654			
その他医業収益	106,879			
(うち他会計負担金)	55,896			
(2) 医業外収益	319,355			
(うち国・都道府県補助金)	2,498			
(うち他会計補助・負担金)	300,064			
(うち長期前受金戻入)	14,057			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,109,921			
2 経常費用	1,109,921			
(1) 医業費用	1,079,468			
職員給与費	596,463	72.3	56.0	71.8
材料費	81,496	9.9	24.1	16.5
(うち薬品費)	36,746	4.5	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	44,750	5.4	11.1	5.6
減価償却費	81,435	9.9	9.2	12.2
経費	314,494	38.1	23.2	31.2
(うち委託料)	83,639	10.1	11.3	12.3
研究研修費	4,350			
資産減耗費	1,230			
(2) 医業外費用	30,453			
(うち支払利息)	6,568	0.8	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	34,967			
純損益	34,967			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.2		98.2	97.1
医業収支比率	76.5		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	31.1		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	43.1		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	31.1		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	71.1		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	2,504,967
1 固定資産	957,097
(1) 有形固定資産	817,131
(2) 無形固定資産	652
(3) 投資その他の資産	139,314
2 流動資産	1,547,870
(1) 現金及び預金	1,403,863
(2) 未収金及び未収収益	139,672
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	4,335
3 繰延資産	-
負債合計	726,217
1 固定負債	533,333
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	508,877
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	24,456
(7) リース債務	-
2 流動負債	130,741
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	65,280
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	42,837
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	22,124
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	62,143
(1) 長期前受金	276,293
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	214,150
資本合計	1,778,750
1 資本金	843,074
2 剰余金	935,676
(1) 資本金剰余金	25,444
(2) 利益剰余金	910,232
負債・資本合計	2,504,967
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	71.3
修正医業収支金額（千円）	769,637

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	355,960	355,960
資本勘定繰入	41,355	21,853
計	397,315	377,813

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30 年度)				都道府県名	鳥取県
				市町村・組合名	日野病院組合
				病院名	日野病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,247 m ²	指定病院の状況	救へ輪		
診療科数	21	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	99	79.9	81.7	80.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	79.9	81.7	80.9
平均在院日数（一般病床のみ）		30.7	32.4	31.4

設立団体の状況	
人口（人）	-
決算規模（千円）	-
標準財政規模（千円）	-
財政力指数	-
経常収支比率（%）	-
健全化判断比率	実質赤字比率（%）
	連結実質赤字比率（%）
	実質公債費比率（%）
	将来負担比率（%）

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	82.1
修正医業収支金額（千円）	1,363,046

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,780,339			
1 経常収益	1,780,339			
(1) 医業収益	1,468,544			
入院収益	878,378			
外来収益	416,243			
診療収入計	1,294,621			
その他医業収益	173,923			
(うち他会計負担金)	105,498			
(2) 医業外収益	311,795			
(うち国・都道府県補助金)	1,943			
(うち他会計補助・負担金)	240,907			
(うち長期前受金戻入)	33,230			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,727,331			
2 経常費用	1,727,331			
(1) 医業費用	1,659,408			
職員給与費	877,465	59.8	56.0	71.8
材料費	232,134	15.8	24.1	16.5
(うち薬品費)	129,876	8.8	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	102,055	6.9	11.1	5.6
減価償却費	122,540	8.3	9.2	12.2
経費	416,640	28.4	23.2	31.2
(うち委託料)	139,268	9.5	11.3	12.3
研究研修費	5,361			
資産減耗費	5,268			
(2) 医業外費用	67,923			
(うち支払利息)	22,924	1.6	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	53,008			
純損益	53,008			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.1		98.2	97.1
医業収支比率	88.5		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	19.5		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	23.6		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	19.5		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	83.0		86.0	74.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	3,297,244
1 固定資産	2,121,726
(1) 有形固定資産	2,121,726
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,175,518
(1) 現金及び預金	844,867
(2) 未収金及び未収収益	301,651
(3) 貸倒引当金（ ）	762
(4) 貯蔵品	8,102
3 繰延資産	-
負債合計	2,371,979
1 固定負債	1,543,403
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,267,600
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	275,803
(7) リース債務	-
2 流動負債	360,541
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	140,268
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,854
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	157,408
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	468,035
(1) 長期前受金	799,308
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	331,273
資本合計	925,265
1 資本金	454,219
2 剰余金	471,046
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	471,046
負債・資本合計	3,297,244
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	444,469	346,405
資本勘定繰入	80,579	-
計	525,048	346,405

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。